

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No.128

平成23年3月3日発行
近畿学校保健学会事務局
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内
TEL&FAX:073-441-0646
URL:<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>
E-mail:kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

追悼文 2
第58回近畿学校保健学会 開催要項 3
研究室だより 8
幹事会報告 10
編集後記 10

会費納入と会員勧誘についてのお願い

本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。

昨年度の滋賀県の学会から年次学会への援助が激減しております。

また各都府県の幹事の先生方には旅費もなしで、まさにボランティア精神で運営に携わっていただいております。郵便振替用紙を同封しておりますので、年会費3,000円を振込みいただきますようお願いいたします。

また、入会案内のパンフレットを同封しますので、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。不足の場合は事務局までお申し込み下さい。

なお、ホームページからもダウンロード出来ますのでご利用下さい。

近畿学校保健学会名誉会員南條徹先生のご逝去を悼む

近畿学校保健学会名誉会員の南條徹先生が去る平成22年9月25日にご逝去されました。享年85歳でした。

先生は数多くの要職におつきになっておいででしたが、学校保健関係では昭和47年から滋賀県守山市野洲郡医師会学校医部長、昭和63年から滋賀県医師会学校医部担当理事、そして平成3年から平成4年、平成7年から平成8年の2度にわたり近畿医師会連合学校医研究協議会理事をお務めになりました。この間、平成元年から滋賀県学校保健会の役員、平成6年から滋賀県健康推進学校審査委員、平成7年から小児成人病対策委員会委員として行政や健康福祉の立場から指導にあたられました。また、昭和29年から50年以上の永きにわたり滋賀県内の幼稚園、小学校、中学校の校医として学校保健の現場でもご活躍になりました。これらの永年にわたるご功績に対し、昭和59年11月に永年勤続学校医として近畿医師会連合学校医研究協議会長表彰、昭和62年10月に学校医制度創設90周年記念式において文部大臣表彰、平成2年12月に滋賀県教育功労者表彰、そして平成6年7月には地方教育行政功労により再び文部大臣表彰を受けられました。

先生は卓越したご見識により本学会の発展に大きく貢献されたことは周知のとおりですが、幅広いご経験に基づき私達に多くのことをご教示下さいました。その一つは、学校保健学は常に学校の現状を見据えたものでないといけないということです。先生が近畿学校保健学会50周年記念誌に寄せられた原稿をみてもそれが伝わって参ります。「創立50周年を振り返り-2つのお願い-」という表題で書かれた内容は、学校保健学会は学校、PTA、地域の方々と構成される学校保健会との違いを明確にし共存を図ること、今こそ性の逸脱行動や薬物乱用について真剣に取り組み教育をすべきであることの2点に集約されます。この2つの点は50周年記念誌のテーマ「すこやかな学校をめざして」いくために学校保健に関わる者が考えねばならない大きな課題であり、それを的確に指摘されていることを知るにあたり、改めて先生の洞察力のすばらしさに敬服させられます。

ここに先生のご功績の一端を偲び、深く哀悼の意を表します。

合掌

(中川雅生)

第58回 近畿学校保健学会開催要項

第58回近畿学校保健学会会長 森岡郁晴
和歌山県立医科大学保健看護学部

1. 会場

和歌山県立医科大学保健看護学部
和歌山市三葛580 TEL：073-446-6700

2. 日時

平成23年7月2日（土）10：00～17：00

午前……一般演題

昼 ……昼食懇談会

評議員会・総会

午後……教育講演「子どもが伸びる睡眠とは」
兵庫県立リハビリテーションセンター
三池輝久所長

シンポジウム

「子ども達を取り巻くネット環境」
(仮題)

シンポジスト

研究者の立場から

養護教員の立場から

県警生活環境課の立場から

夜 ……懇親会

3. 一般演題申込

演題発表者は、平成23年4月15日（金）までに、第58回近畿学校保健学会事務局までお申し込みください。

一般演題発表者は、共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、入会手続きを事前に行ってください。

抄録はA4サイズ1枚で、5月20日（金）の締め切りです。

4. 第58回近畿学校保健学会賞

第58回近畿学校保健学会では学会賞を設けることになりました。対象者は一般演題の発表者のうち、大学院生（学生を含む）、若手研究者（申込時に40歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込用紙に○印をつけてください。

皆様の演題申込をお待ちしております。

5. 参加費

正会員 1,000円（但し、平成23年度会費納入者）、平成23年度会費未納の会員の方は、当日、年度会費をお支払いください。年度会費の納入がない場合は当日会員となり、参加費は2,000円となりますのでご注意ください。当日会員2,000円、大学院生1,000円、学生500円

6. 昼食懇談会

一般演題終了後、座長を囲んで会員相互の懇談の場を設けます。会費は1,000円です。6月3日までに事前申し込みが必要です。皆さんの参加をお待ちしております。

（本学部周辺には食事をする施設はございませんのでご了承ください）

7. 懇親会

7月2日（土）18時よりアバローム紀の国にて懇親会を開催いたします。会場より無料マイクロバスが出ます。

参加費は4,000円です。6月3日までに事前申し込みが必要です。是非ご参加ください。

8. ダウンロード

演題申込書、抄録、参加申込書の様式は、ホームページよりダウンロードできますので、ご活用ください。

URL：http://home.kobe-u.com/kinki-sha/

9. 演題申込・問い合わせ先

〒641-0011 和歌山市三葛580

和歌山県立医科大学保健看護学部

第58回近畿学校保健学会事務局

内海みよ子

TEL：073-446-6700, FAX：073-446-6720,

e-mail：gakuho58@wakayama-med.ac.jp

「演題発表・抄録原稿の作成要項」

1. 演題申込について

別紙の演題申込用紙に必要事項を記入の上、平成23年4月15日（金）までに、FAX、Eメール、郵送のいずれかでお申し込みください。

2. 抄録原稿の作成について

第58回近畿学校保健学会の抄録用原稿については、原稿用紙をお送りいたしませんので、各自下記の要項にしたがって抄録原稿を作成し、Eメールまたは郵送でお送りください。

抄録原稿は、原則として、Microsoft Word または一太郎でご執筆ください。A4用紙1ページで、上下30mm、左右25mmの余白枠を設定。書体は、明朝体またはゴシックで。

演題名は、中央に配置して、文字は12ポイントで強調文字に。一行空けて、発表者氏名、共同研究者氏名、所属を右寄せにして、10ポイントで。発表者名の前に○印。一行空けて、キーワードを3～5個、左寄せにして9ポイントで。改行して本文となります。

本文は10ポイントで2段に分け、1段当たり1行24字で、中央は3字空けて40行で。研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述。必要があれば収まる範囲で、図表を入れてください。

抄録原稿の締切りは、平成23年5月20日（金）（郵送の場合は当日消印有効）。

Eメールの場合、Microsoft Word または一太郎で作成し添付ファイルにて、「抄録原稿」として送信してください。[Eメール送付先：gakuho58@wakayama-med.ac.jp]

郵送の場合、原本とコピー2部、原本のデータが入っているフロッピー・CD又はDVDと、連絡先を記入したはがき1枚を事務局までお送りください。封筒には、「第58回近畿学校保健学会 抄録原稿在中」と朱書きの上、お送りください。

3. 発表のお知らせについて

抄録原稿を頂いた後、Eメールの場合はEメールで、郵送の場合ははがきでお知らせいたします。

4. 発表についての留意事項

発表は、1演題につき、発表時間8分、質疑応答時間4分を予定しています。学会当日は、パワーポイント用のプロジェクター、コンピューターを準備いたします。パワーポイントを使用される場合は、USBフラッシュメモリーをお持ちください。なお、Office 2003もしくは2007対応のものでお願いいたします。資料配布される場合は50部ご用意ください。

不明な点がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

= 連絡先 =

〒641-0011 和歌山市三葛580
和歌山県立医科大学保健看護学部
第58回近畿学校保健学会事務局
内海みよ子
TEL：073-446-6700、FAX：073-446-6720、
e-mail：gakuho58@wakayama-med.ac.jp

◎一般演題発表者は共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、年会費3,000円を下記郵便振替口座にお振込みください。

加入者名：近畿学校保健学会
加入者番号：00940-5-181826
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内
近畿学校保健学会事務局
TEL&FAX 073-441-0646

お知らせ

第59回（平成24年度）日本学校保健学会が、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の川畑徹朗教授を学会長として開催されることが正式決定しました。川畑先生は本学会の前幹事長です。本学会としましても出来る限りの協力をしたいと考えています。

広報担当 常任幹事 白石 龍生

第58回 近畿学校保健学会演題申込用紙

(1題1葉に記入して下さい。下記の注意を守ってください。)

演題名
発表者氏名, 共同研究者名氏名, 所属 (連名のときは発表者名の前に○印, 新入会員には*印)
連絡先住所 〒 氏名 TEL&FAX Eメールアドレス
発表要旨 (100字程度)

第58回近畿学校保健学会費の対象者に該当します ()
【該当する場合は () 内に○をつけてください】

注意事項

1. 演題締切り：平成23年4月15日（金）（必着）
 2. 申込用紙送付先：
FAX …… 073-446-6720
Eメール …… gakuho58@wakayama-med.ac.jp
郵送 …… 〒641-0011 和歌山市三葛580 和歌山県立医科大学保健看護学部
第58回近畿学校保健学会事務局 内海みよ子
 3. 申込用紙の不足の時はコピーして使用してください。
 4. 記載事項の訂正はできませんのでご了承ください。
 5. 発表内容は、学校保健に立脚し、具体的な資料に基づいた研究発表を期待します。
 6. 第58回近畿学校保健学会費の対象者に該当する方は、ご記入ください。
 7. その他については、開催要項をご覧ください。
 8. 抄録原稿は、作成要項にしたがい各自作成の上、
① Eメール送信か、② 原稿とフロッピー・CD・DVDを郵送してください。
抄録原稿の締切りは、平成23年5月20日（金）（郵送の場合は当日消印有効）
- *様式については、下記学会ホームページの「第58回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。 URL：<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

事務局使用欄
受付番号
抄録原稿受付日 月 日
発表時間：7月2日 午前 時 分から 時 分まで (会場)
返送日 月 日

抄録の書き方～原稿見本～

上余白30mm

演題名 (12ポイント, 中央, 強調文字)

○発表者氏名, 共同研究者氏名, 所属 (10ポイント, 右寄せ)

左余白25mm

右余白25mm

【記入例】

○紀州太郎¹⁾, 和歌山華子²⁾

¹⁾ 和歌山県立医科大学保健看護学部 ²⁾ 和歌山大学教育学部

キーワード (3～5個, 9ポイント, 左寄せ)

本文

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

- ・原稿はA4用紙 1 ページで上下余白30mm, 左右余白25mmをとって下さい
- ・書体は明朝体またはゴシック
- ・演題名は中央に配置して, 文字は12ポイント, 強調文字
- ・1行空けて発表者氏名, 共同研究者氏名, 所属を右寄せにして10ポイント。発表者氏名の前に○印
- ・1行空けてキーワードを3～5個, 左寄せにして9ポイント
- ・改行して本文
本文は10ポイントで2段組, 1段あたり1行24字, 中央は4文字空けて40行で, 目的, 方法, 結果, 考察を簡潔にまとめてお書きください。必要があれば収まる範囲で図表を入れてください。
- ・原稿はパソコンで作成し, Eメール添付または郵送にてお送りください。
- ・抄録原稿締切り:平成23年5月20日 (金)

*この様式は, 下記学会ホームページの「第58回近畿学校保健学会のご案内」からダウンロードできます。 URL: <http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

下余白30mm

第58回近畿学校保健学会 参加申込書

平成23年 月 日申し込み
学会，昼食懇談会，懇親会参加の希望者は○をつけて下さい。

氏名	所属	会員・学生の別	学会参加	昼食懇談会 参加	懇親会 参加
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			
		会員 非会員 大学院生 学生			

申し込み締め切り：平成23年6月3日（金）

E-mail添付またはファックスにて，第58回近畿学校保健学会事務局にお申し込みください。

E-mail：gakuho58@wakayama-med.ac.jp Fax: 073-446-6720

この様式は学会ホームページの「第58回近畿学校保健のご案内」からもダウンロードできます。

URL：http://home.kobe-u.com/kinki-sha/

お問い合わせ先

第58回近畿学校保健学会事務局

〒641-0011 和歌山市三葛580 和歌山県立医科大学保健看護学部

Tel：073-446-6700（担当 内海みよ子） Fax：073-446-6720

研究室だより

奈良女子大学 保健管理センター
高橋研究室

本学は近鉄奈良駅から徒歩5分の交通至便の地にあり、環境に恵まれ、奈良公園や東大寺などは徒歩圏内である。万葉集や古事記の研究で有名な文学部・岡潔博士が教鞭をとった理学部のほか、本研究室が所属する生活環境学部の3学部から成る。

本研究室は、平成12年4月1日、高橋の奈良女子大学への着任にともない開設された。以後11年間に18名の大学院生を受け入れ、修士号取得者は14名、博士取得者は5名であり、現在修士課程3名博士課程3名が在籍している。本学は大学院受験資格も女性に限定していることから、本研究室の大学院生は全員女性である。

本研究室の研究テーマは大別して3つに分かれる。

1. 禁煙に関する研究

平成18年4月から平成22年3月までの4年間の厚生労働省科研「喫煙と禁煙の経済評価の研究」「各種禁煙対策の経済影響に関する研究」では医療経済学的研究を推進した。1) たばこ価格の変動と税収・喫煙率の予測(たばこ代を値上げすると本当に税収減になる?) 2) 禁煙支援の医療評価(医者による禁煙保険診療・薬剤師による禁煙治療薬の薬局販売・歯科医師による禁煙支援、医療評価的な優劣は?) 3) 喫煙者と非喫煙者の医療費比較(喫煙者と非喫煙者、どちらが医療費が高くつく? 喫煙者は早世するために医療費節約に寄与しているというのホント?) の3つの命題について規模の大きな研究を進めた。

これらは平成22年10月のタバコ価格値上げに直接的につながる成果であったが、指導教官の高橋の本来の研究テーマはこうした経済研究とは異なって「禁煙支援プログラムの構築とその成果評価」であり、疫学的手法を用いた研究が主である。大学院生の研究テーマも、「子どもタバコゼロプロジェクト」「喫煙防止教育の方法と教材の作成」「全国大学禁煙化プロジェクト」「女性や妊産婦の喫煙と禁煙」「メールサポ

ートや禁煙治療の成果評価」「精神疾患における適切な禁煙支援方法の開発」など、禁煙支援に関連した題名が並ぶ。

大学禁煙化プロジェクトは、大学生を非喫煙者で社会に送るための必要な資材や治療薬を全国の大学に提供するものであり、学生の禁煙治療に必要な薬剤や大学での喫煙防止教材の無料送付を含むサポートを各大学の保健管理担当者が申し込んで利用する。プロジェクト開始後10年で利用大学は300大学以上に上り、年1回の研究会への参加者は毎回200人を超える。また子どもたばこゼロプロジェクトは、喫煙する児童生徒を禁煙治療につなぐサポートであり、奈良県・保健所と協働で日本全国でも珍しい「子どもたちから自分の喫煙を先生に打ち明ける」体制を構築してきた。これら二つのプロジェクトは、研究室から全国に禁煙サポートツールを提供するとともに大学院生の研究テーマとなってきた。

そのほか、禁煙分野では、精神疾患における禁煙、女性の禁煙など、一般に禁煙導入が困難と言われるケースへのアプローチ方法について社会環境も含めた適切なプログラム構築もテーマのひとつである。

2. 特定保健指導・職域での

健康支援方法に関する研究

職域での特定保健指導や体重コントロールに関する研究は本研究室のもうひとつの大きなテーマであり、携帯メール通信(写メ)を用いた体重コントロールプログラムの作成をはじめ職域に出向いての調査研究を大学院生を中心に継続してきた。

3. きものと健康に関する研究

平成20年から追加した新しいテーマである。和装着用による健康影響についての疫学的研究のほか、生活環境学部の他の教官との共同研究など、実験的手法を用いた研究にも着手している。

以上、本研究室の主たる研究テーマについて述べたが、健康に関する研究であればどのような研究もウエルカムとしてきたことから、大学院生は高橋とともに、各人の関心のあるとこ

ろについての研究を進めてきた。

積極的に社会人学生を受け入れてきたことは本研究室の特徴といえよう。本研究室に在籍した18名の大学院生の職業は、保健師8名、薬剤師3名、管理栄養士3名、医師1名、助産師1名、メンタルトレーナー1名、医療系行政職1名であった。年齢層は高く、18名中5名が指導教官より年齢が上で、3名が定年退職の前後に医療人としての仕事の総決算をと希望して入学してきたものであった。

本学では社会人学生の単位取得に関しては学内の協力が得やすく、休日や夜間のレクチャーなども設けられるが、本人の努力が必要なことは言うまでもない。本研究室は大学院生は全員が既婚者であり、子育てや親の介護と大学院での研究、そして自分の本来の職務という3足のわらじを履きながら学位を取得した。

修了後は、入学前からの職場に残るほか、本研究室のスタッフを経て大学教職に転職した者をふくめ4名が大学教職に就いている。他の研究室同様、他大学との交流も盛んで、常時他大学の大学院生や研究生の受け入れ等もおこなってきた。

以上、本研究室を簡単に紹介した。本学には医学系の学部はないことから、本研究室の院生やスタッフは指導教官の高橋も含めて全員が他大学の出身者であるが、研究室内の先輩後輩の繋がりが強く、働く女性どうし支えあう暖かい雰囲気研究室に満ちていることは指導教官としてまことにありがたい。

最後に、高橋研究室に在籍した大学院生各人の頑張りに拍手を送るとともに、これらの大学院生を支えてくださった多くの先生方、研究室を応援くださった多くのみなさまにも感謝を申し上げます。

(高橋裕子)



奈良公園に至近で、学内には10頭を超える鹿が常住。



研究室にて大学院ゼミ風景



喜びの学位授与式。研究室前の大学中庭で撮影背景は本学記念館（重要文化財・2階ホールで学位授与）中央白い着物が高橋で、残りは学位を受ける本研究室の大学院生たちです。

平成22年度第2回近畿学校保健学会 幹事会議事録

日時：平成22年10月16日（土曜日）

10：30～12：00

場所：大阪教育大学 天王寺キャンパス中央館
2階212講義室

出席：（幹事長）宮下，
（常任幹事）白石，西岡，森岡，
（幹事）大矢，中川，井上，笹山，八木，
松嶋，森川，吉岡，川畑，永井，中村，
西岡，武田
（幹事長補佐）福元 （順不同）

議事に先立ち、宮下新幹事長より挨拶と、配布された平成22・23年度幹事名簿に基づき、役員の変更について報告された。

議事

1. 学会通信の発行について

- ・宮下幹事長より学会通信No.127の企画案について説明があり、了承された。
- ・座長報告の記載法について、今後統一する方針で検討を行うことが確認された。

2. 第57回近畿学校保健学会年次学会について

- ・中川学会長より、第57回近畿学校保健学会年次学会について実施報告がなされた。

3. 第58回近畿学校保健学会年次学会案について

- ・森岡次期学会長より、開催要領、プログラム、運営の案内について説明があり、了承

された。

- ・次回の学会では事前申し込みを行いたいとの旨の説明があり、了承された。
 - ・評議員会、総会の開催方法について、次回幹事会で時系列のシミュレーション案等を提示することとなった。
- #### 4. 近畿学校保健学会の運営について
- ・各府県の幹事より代表幹事を選出し、相互で連携を密にする案が了承された。
 - ・会員増を図ることが喫緊の課題であり、各地の教育委員会、医師会への会誌送付などの学会広報活動、また会員個人も新入会員の積極的な勧誘を行う方針が確認された。
 - ・例えば、年次学会で統計セミナーを開催するなど、入会のメリットを積極的に打ち出す必要があるとの認識で一致した。
 - ・ITを活用したタイムリーな学会の情報発信が必要であるという認識で一致した。具体的には、(1)学会オリジナルのドメイン名取得や外部委託を含むHP運営、(2)メールの活用による事務手続きの効率化など。
- #### 5. 第59回日本学校保健学会総会について
- ・平成24年度に近畿地区で実施される予定につき、本学会でも積極的に協力する方針が確認された。
- #### 6. 名誉会員南條徹氏のご逝去について
- ・名誉会員の南條徹氏が9月25日にご逝去されたことが報告された。次号の学会通信で追悼文を掲載し、時期の年次学会で開催される総会で黙祷を捧げることが了承された。

編集後記

本号には、7月2日に和歌山県立医科大学保健看護学部（和歌山市）を会場として開催される、第58回近畿学校保健学会の開催要項が掲載されました。今年の年次学会の学会長を、私が担当させていただくことになりました。

今回の年次学会では、教育講演として睡眠を、シンポジウムではネット環境を取り上げています。新たな企画として、一般演題を発表した、大学院生、若手研究者を対象に、年次学会賞を設けました。若い方々の価値ある研究を顕彰して、これからの発展につながればいいと思っています。さらに、昼食懇談会も設けました。一般演題発表後は、担当された座長の先生から指導を受ける機会としてもご利用いただけるように考えています。

会場の近くには和歌の浦があり、古代万葉人はこの風光明媚な地に多くの短歌を残しています。この年次学会での会員の優れた発表が後世に残り、今後の発展の礎となることを期待しています。多くの皆様のご参加と発表をお待ちしています。

常任幹事・第58回近畿学校保健学会会長 森岡郁晴